

評価基準 A 事業を実施し、施策の方向性の成果が十分得られた。 B 事業を実施し、施策の方向性の成果が概ね得られた。 C 事業を実施したが、施策の方向性の成果までは得られなかった。 D 事業を実施したが、施策の方向性の成果が得られず課題が多い。 E 事業を実施していない。	○ 29年度より成果が得られた。 ▽ 29年度より成果が得られなかった。
---	---

第3章 食育・健康づくりにおける具体的施策

第4節 主な生活習慣病の発症及び重症化の予防

(1) がん 施策の方向性：「定期的ながん検診や精密検査を受診しやすい体制を整える。」

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
がん予防に関する知識の普及・啓発【再掲】	広報紙やホームページのほか、村山デグラまつり等において、がん予防に関する正しい知識の普及・啓発をします。	広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内のイベント等において、普及・啓発活動を行った。あわせて市の公共施設に普及、啓発用ポスターを掲示し、市民の関心を高めた。	B	引き続き、広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内の各所においてがん予防に関する知識の普及、啓発活動を実施する。	広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内のイベント等において、普及・啓発活動を行った。あわせて市の公共施設に普及、啓発用ポスターを掲示し、市民の関心を高めた。	B	引き続き、広報紙や市ホームページのほか、各種検診会場、市内の各所においてがん予防に関する知識の普及、啓発活動を実施する。		健康推進課
各種がん検診の実施【再掲】	疾病の予防や早期発見を図るため、胃がんと検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診及び前立腺がん検診を実施します。また、受診機会の充実を図るため、がん検診が受診しやすい体制づくりを研究します。	各種がん検診を実施し、市民の健康管理に努めた。 受診者数 ・胃がん検診 1,280人(受診率 5.4%) ・肺がん検診 1,448人(受診率 5.4%) ・大腸がん検診 2,001人(受診率 6.6%) ・子宮がん検診 809人(受診率 9.1%) ・乳がん検診 1,065人(受診率 16.3%) ・前立腺がん検診 381人(受診率 2.6%)	B	引き続き、健康増進法に基づくがん検診を実施し、市民の健康管理に努める。	各種がん検診を実施し、市民の健康管理に努めた。 受診者数 ・胃がん検診 1,217人 ・肺がん検診 1,443人 ・大腸がん検診 1,658人 ・子宮がん検診 854人 ・乳がん検診 1,059人 ・前立腺がん検診 340人	B	引き続き、健康増進法に基づくがん検診を実施し、市民の健康管理に努める		健康推進課
糖尿病等重症化予防保健指導【再掲】	糖尿病性腎症の未治療者に焦点をあて、対象者本人が病態について理解をし、定期的な通院行動に移行するための受診勧奨を行い、その後6か月間の継続的な支援を行います。	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者 7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者(計画人員) 10人	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名：糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：10人		保険年金課
特定健康診査・後期高齢者健康診査・無保険者健康診査【再掲】	40歳以上の国民健康保険及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者並びに無保険者を対象に、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの予防・改善等を目的とする特定健診等を推進します。	無保険者に対し、健康診査等を実施した。 受診者 319人(受診率23.9%)	C	引き続き、無保険者に対し、健康診査等を実施する。	無保険者に対し、健康診査等を実施。 受診者 332人(受診率24.4%)	○B	引き続き、無保険者に対し、健康診査等を実施。		健康推進課
特定健康診査・後期高齢者健康診査【再掲】	40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者 6,484人(受診率47.2%) 健康診査受診者 4,494人(受診率58.0%)	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者(計画人員) 6,213人 受診率(目標値) 50.9% 健康診査受診者(計画人員) 4,832人 受診率(目標値) 59.0%	B	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者(計画人員) 6,213人 受診率(目標値) 50.9% 健康診査受診者(計画人員) 4,832人 受診率(目標値) 59.0%	40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者：5,818人(受診率44.5%) 健康診査受診者：4,792人(受診率58.5%)	C	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者：6,108人(受診率52.7%) 健康診査受診者：5,228人(受診率60.0%)		保険年金課
保健指導【再掲】	特定健診等の受診結果に基づき、メタボリックシンドローム及びその予備群の該当者に対し、保健師や管理栄養士等による運動・食事等についての指導・助言を実施します。	無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 4人実施 積極的支援 1人実施 実施率 17.2%	C	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。	無保険者に対し、保健師等による保健指導を実施。 動機付け支援 1人実施 積極的支援 3人実施 実施率 16.7%	○B	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。		健康推進課
保健指導【再掲】	国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 83人実施 積極的支援 12人実施 実施率 11.6%	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援(計画人員) 103人 積極的支援(計画人員) 34人 実施率(目標値) 20.0%	C	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援(計画人員) 103人 積極的支援(計画人員) 34人 実施率(目標値) 20.0%	国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：142人実施 積極的支援：22人実施 実施率：23.4%	○B	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：141人実施 積極的支援：47人実施 実施率目標値：28.0%		保険年金課
要精密検査の受診勧奨	がん検診実施機関や要精密検査実施医療機関と連携し、要精密検査者に対し、精密検査の受診勧奨を行います。	要精密検査者に個別に連絡し、受診勧奨を行った。また、各検診受診時に精密検査の重要性や必要性についての情報提供を行った。	B	引き続き、要精密検査者に個別に連絡し、受診勧奨を行うほか、各検診受診時に精密検査の重要性や必要性についての情報提供を行う。また、より効果的な受診勧奨の方法等について検討する。	要精密検査者に個別に連絡し、受診勧奨を行った。また、各検診受診時に精密検査の重要性や必要性についての情報提供を行った。	B	引き続き、要精密検査者に個別に連絡し、受診勧奨を行うほか、各検診受診時に精密検査の重要性や必要性についての情報提供を行う。また、より効果的な受診勧奨の方法等について検討する。		健康推進課

(2) 糖尿病・メタボリックシンドローム 施策の方向性：「生活習慣を改善させる取組や特定健診等の受診、保健指導等の利用を推進し、早期発見や早期治療につなげる。」

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
ヘルシースリム教室・骨粗しょう症予防教室【再掲】	ヘルシースリム教室、骨粗しょう症予防教室における医師の講話、保健師からの指導・助言、試食を含めた栄養士による栄養指導、歯科衛生士からの歯みがき等の実習を取り入れた歯科指導を通して、生活習慣の改善へとつなげます。	各種健康教室にて、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士からの講話・指導・助言等を行い、生活習慣の改善につなげる教室を開催。(平成29年度より「ヘルシースリム教室」は「健康寿命を延ばそう教室」に変更。) 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ26人 【骨粗しょう症予防教室】1回実施 28人	B	引き続き、各種健康教室を実施し、内容の充実にも努める。 【健康寿命延ばそう教室】 2回 【骨粗しょう症予防教室】 2回	各種健康教室にて、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士からの講話・指導・助言等を行い、生活習慣の改善につなげる教室を開催。 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ21人 【骨粗しょう症予防教室】 2回実施 延べ54人	B	引き続き、各種健康教室を実施し、内容の充実にも努める。 【健康寿命延ばそう教室】 2回 【骨粗しょう症予防教室】 2回		健康推進課
糖尿病等重症化予防保健指導【再掲】	糖尿病性腎症の未治療者に焦点をあて、対象者本人が病態について理解をし、定期的な通院行動に移行するための受診勧奨を行い、その後6か月間の継続的な支援を行います。	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者 7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者(計画人員) 10人	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名：糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：10人		保険年金課
特定健康診査・後期高齢者健康診査・無保険者健康診査【再掲】	40歳以上の国民健康保険及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者並びに無保険者を対象に、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの予防・改善等を目的とする特定健診等を推進します。	無保険者に対し、健康診査等を実施。 受診者 319人(受診率23.9%)	B	引き続き、無保険者に対し、健康診査等を実施。	無保険者に対し、健康診査等を実施。 受診者 332人(受診率24.4%)	B	引き続き、無保険者に対し、健康診査等を実施。		健康推進課
特定健康診査・後期高齢者健康診査【再掲】	40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者 6,484人(受診率47.2%) 健康診査受診者 4,494人(受診率58.0%)	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者(計画人員) 6,213人 受診率(目標値) 50.9% 健康診査受診者(計画人員) 4,832人 受診率(目標値) 59.0%	B	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者(計画人員) 6,213人 受診率(目標値) 50.9% 健康診査受診者(計画人員) 4,832人 受診率(目標値) 59.0%	40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者：5,818人(受診率44.5%) 健康診査受診者：4,792人(受診率58.5%)	▽C	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者：6,108人(受診率52.7%) 健康診査受診者：5,228人(受診率60.0%)		保険年金課
保健指導【再掲】	特定健診等の受診結果に基づき、メタボリックシンドローム及びその予備群の該当者に対し、保健師や管理栄養士等による運動・食事等についての指導・助言を実施します。	無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 4人実施 積極的支援 1人実施 実施率 17.2%	B	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。	無保険者に対し、保健師等による保健指導を実施。 動機付け支援 1人実施 積極的支援 3人実施 実施率 16.7%	B	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。		健康推進課
保健指導【再掲】	国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 83人実施 積極的支援 12人実施 実施率 11.6%	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援(計画人員) 103人 積極的支援(計画人員) 34人 実施率(目標値) 20.0%	B	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援(計画人員) 103人 積極的支援(計画人員) 34人 実施率(目標値) 20.0%	国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：142人実施 積極的支援：22人実施 実施率：23.4%	B	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：141人実施 積極的支援：47人実施 実施率目標値：28.0%		保険年金課

(3) 循環器疾患 施策の方向性：「循環器疾患の予防のための生活習慣の改善や発症リスクを低下させる取組を推進する。」

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
糖尿病等重症化予防保健指導【再掲】	糖尿病性腎症の未治療者に焦点をあて、対象者本人が病態について理解をし、定期的な通院行動に移行するための受診勧奨を行い、その後も6か月間の継続的な支援を行います。	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者 7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名 糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者(計画人員) 10人	レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名：糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：7人	B	引き続き、レセプトデータの分析によりⅡ型糖尿病を起因とした者のうち行動変容が現れやすい者に対し、専門職による保健指導を6か月間実施。 事業名：糖尿病性腎症重症化予防事業 保健指導実施者：10人		保険年金課
特定健康診査・後期高齢者健康診査・無保険者健康診査【再掲】	40歳以上の国民健康保険及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者並びに無保険者を対象に、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの予防・改善等を目的とする特定健診等を推進します。	無保険者に対し、健康診査等を実施。 受診者 319人(受診率23.9%)	B	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者(計画人員) 6,213人 受診率(目標値) 50.9% 健康診査受診者(計画人員) 4,832人 受診率(目標値) 59.0%	40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者：5,818人(受診率44.5%) 健康診査受診者：4,792人(受診率58.5%)	C	引き続き、40歳以上の国民健康保険加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者に対し、特定健康診査等を実施。 特定健康診査受診者：6,108人(受診率52.7%) 健康診査受診者：5,228人(受診率60.0%)		保険年金課
保健指導【再掲】	特定健診等の受診結果に基づき、メタボリックシンドローム及びその予備群の該当者に対し、保健師や管理栄養士等による運動・食事等についての指導・助言を実施します。	無保険者に対し、健康診査等を実施。 動機付け支援 4人実施 積極的支援 1人実施 実施率 17.2%	B	引き続き、無保険者に対し、健康診査等を実施。	無保険者に対し、保健師等による保健指導を実施。 動機付け支援 1人実施 積極的支援 3人実施 実施率 16.7%	B	引き続き、無保険者に対し、保健師による特定保健指導を実施。		健康推進課
		国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援 83人実施 積極的支援 12人実施 実施率 11.6%	C	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援(計画人員) 103人 積極的支援(計画人員) 34人 実施率(目標値) 20.0%	国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：142人実施 積極的支援：22人実施 実施率：23.4%	B	引き続き、国民健康保険加入者に対し、保健師による特定保健指導を実施。 動機付け支援：141人実施 積極的支援：47人実施 実施率目標値：28.0%		保険年金課